



▲列車の周りにプラレールを敷き、地域の名所を配置



▲模型列車からの映像



▲JR職員の人たちから組み方を教わります

ダンボール列車を作ろう

6/23 比地大小学校

JR 四国多度津工場の協力のもと、出前授業が行われました。JR職員の人たちと協力して、ダンボール列車を作成。比地大地区の名所を取り入れたジオラマ作りも体験しました。ジオラマが完成し、その周りをCCDカメラを搭載した模型列車が走ります。列車からの映像が教室のモニターに映し出されると、子どもたちから大きな歓声が上がりました。

みとよHOT ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは
市ホームページで [三豊市](#) [検索](#)



▲アニマル重機に大喜び

台風シーズンに備えて

6/22 比地小学校第2運動場

市建設業協会が主催する防災訓練は、洪水や土砂災害など、災害が多くなる台風シーズンの前に、会員相互の連携を強化しようと毎年行われています。今年は、74社128人が参加して訓練に臨みました。比地小学校の5,6年生も参加し、心肺蘇生や応急処置の仕方などを学びました。



▲心肺蘇生の方法を学びました

▲手際よく土のうが作られました



▲「モザンビークのことを好きになってくれるとうれしい」とあいさつ



▲仲良くみんなで記念撮影

外国からの視察団と交流

7/5 麻小学校

モザンビークとパプアニューギニアの教育関係者14人が視察に訪れ、5年生の理科の授業などを見学しました。全校児童との交流会では、5,6年生がソーラン節を踊って歓迎したほか、〇×クイズではお互いに答えを相談し合うなど国を超えた交流を楽しみました。



▲上手に自己紹介できるかな



軽快なダンスで観客を魅了

7/8 みとよ未来創造館周辺

たかせ夏まつり2017が開催され、市内外から集まった17団体が、よさこい踊りやフラダンスなどの路上パフォーマンスを繰り広げました。恒例の眉山太鼓台のお菓子まきでは、大量のお菓子や木ふだがかかると、参加した人たちは一斉に夜空へ手を伸ばしていました。



音楽で梅雨を吹き飛ばそう!

6/18 浪打八幡神社

『瀬戸内シーサイドマルシェ』が、和太鼓やジャズ、吹奏楽やサマカイト演奏とコラボしたイベント『まち音めぐり』を開催。訪れた人たちは、境内周辺で演奏される音楽を聞きながら、食事や買い物を楽しんでいました。



▲境内地には飲食スペース



▲生演奏を間近で聴きました



▲近くの空き家で「昭和展」。レトロな雑貨が並びます